

採点基準 英語

配点表				
大問	小問等	内訳	小問得点	大問得点
I	1	客観	3×4	64
	2	客観	2×4	
	3	客観	6(完答)	
	4	記述	10	
	5	記述	10	
	6	記述	12	
	7	客観	6	
II	1	記述	10	64
	2	客観	2×5	
	3	記述	12	
	4	記述	12	
	5	客観	8(完答)	
	6	記述	12	
III	1	客観	2×5	44
	2	記述	10	
	3	記述	12	
	4	客観	4	
	5	客観	4×2	
IV	記述		28	28
合計			200	

I

【客観問題】

1 ① (オ) ② (ウ) ③ (ア) ④ (エ)

2 [a] カ [b] エ [c] イ [d] ク

3 完答 3 番目 crops 6 番目 themselves 8 番目 put 12 番目 for

(完成部)(A couple of centuries ago, farmers) produced multiple crops to feed themselves and put aside some surplus [=some surplus aside] for a rainy (day.)

7 (D)

問4 下線部和訳(10点満点)

(設問指示)

下線部②を和訳しなさい。

(解答例) ①～③の番号は下表の部分との対応を表す。

①今日のグローバル化された単一栽培は、③生物多様性の低下や土壌の劣化や温室効果ガスの排出増加といった
 ①悪影響を②環境に与えているのみならず、農場の生産性と経費にも①マイナスに作用している。

【和訳箇所】

①Today's globalized monoculture is having negative impacts ②not only on the environment ③— loss of biodiversity, soil degradation and increasing greenhouse gas emissions — ②but also on farm productivity and expenses

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

区分	項目
①	Today's globalized monoculture is having negative impacts (not only on A but also on B) 「今日のグローバル化された単一栽培は、(AにだけでなくBにも)悪影響を与えている」 「今日のグローバル化された単一栽培は、(Aに悪影響を与えているのみならずBにも)マイナスに作用している」 「今日のグローバル化された単一栽培の悪影響は、(AだけでなくBにも)及んでいる」
	<input type="checkbox"/> Today's globalized monoculture は「昨今のグローバルな単式農法は」なども可。 ▶ Today's / globalized / monoculture の欠如はそれぞれ減点。 ▶ globalized を「国際的な[国際化された]」とするのは誤訳。 ▶ monoculture のカタカナ表記は不可。 <input type="checkbox"/> ...is having negative impacts「～はネガティブな影響を与えている」としてもよい。 ▶ is having / negative / impacts の欠如はそれぞれ減点。 ▶ is having の時制ミスは減点。 ▶ impacts のカタカナ表記は不可。
②	not only on the environment … but also on farm productivity and expenses 「環境(に)だけでなく農場の生産性と経費にも」 「環境(に)悪影響を与えているのみならず農場の生産性と(諸)費用にも」
	<input type="checkbox"/> not only (on) A but also on B 「AにだけでなくBにも」の構文把握ミスは減点。 <input type="checkbox"/> A= the environment / B= farm productivity / expenses の欠如はそれぞれ減点。 ▶ the environment は「自然環境」としても可。
③	— loss of biodiversity, soil degradation and increasing greenhouse gas emission— 「—生物多様性の低下や土壌の劣化や温室効果ガスの排出増加—」
	<input type="checkbox"/> ダッシュ(—)内を、「単一栽培が環境に与えている悪影響の例」と把握できていない場合は減点。 ▶ (×)「単一栽培は生物多様性の低下や土壌の劣化や温室効果ガスの排出増加といった環境だけでなく、農場の生産性と経費にも悪影響している。」 <input type="checkbox"/> loss / of biodiversity / soil / degradation / increasing / greenhouse gas / emission の欠如はそれぞれ減点。 ▶ loss は「喪失」「損失」「劣化」「ロス」など。 ▶ biodiversity を「生物ダイバーシティ」とした場合減点。 ▶ increasing は「高まり[増]つつある～」としても可。

問5 下線部和訳(10点満点)

(設問指示)

下線部③を日本語に訳しなさい。

(解答例) ①～②の番号は下表の部分との対応を表す。

「①これにより、雑草と、費用と時間のかかるそれらの除去が減少し、②農家は今では同じ労力で、そのまま販売もでき、あるいは精油を抽出して販売もできるハーブを、雑草の代わりに手にしている[手に入れた]のです。」

【和訳箇所】

“①This has reduced the weeds and their expensive and time-consuming removal, ②and with the same labor, instead of weeds, farmers now have got herbs that can be sold as they are or from which their essential oils can be extracted and sold.”

●次の①・②の項目に相当する内容に得点を配分。

区分	項目
①	<p>“This has reduced the weeds and their expensive and time-consuming removal, 「これにより、雑草と、費用と時間[手間]のかかるそれらの除去が減少し、」</p>
	<p>□「これは雑草を減らし、費用がかかる上面倒な除草をも減少させてきた」としても可。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ This / has reduced / the weeds / expensive / time-consuming / removal の欠如はそれぞれ減点。 ▶ This は「ブドウ園や果樹園では、有機農家がタイムやオレガノなどのハーブを主要作物と並行して、またはそれらの間に、導入していること」を指す。誤った解釈で訳出したものは減点。 ▶ has reduced の時制ミスは減点。 ▶ their [←weeds を指す] の訳出有無は不問。誤って訳出したものは減点。 ▶ expensive を「高価で」「値段が高い」としたものは減点。
②	<p>...and with the same labor, instead of weeds, farmers now have got herbs that can be sold as they are or from which their essential oils can be extracted and sold.” 「農家は今では同じ労力で、そのまま販売もでき、あるいは(それらから)精油を[が]抽出し[され]、販売[されること]もできるハーブを、雑草の代わりに手にしているのです。」</p>
	<p>□ ...and with the same labor, instead of weeds, farmers now have got herbs, は「農家は雑草の除去にかかるのと同程度の労力で、雑草ではなくハーブを手に入れた」としても可。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ with the same labor / instead of / weeds / farmers / have got / herbs の欠如はそれぞれ減点。 ▶ now「今や」の欠如は不問。 ▶ 副詞句 with the same labor と instead of weeds が have got に掛かっている訳は減点。 ▶ A instead of B において A= herbs / B= weeds と理解できていない訳は減点。 ▶ have got を「手に入れた」など過去形で訳しても許容。 ▶ herbs は「薬草」「香草」「草」も許容。 <p>□ (herbs) that can be sold as they are or from which their essential oils can be extracted and sold は、「加工せずに販売でき、また精油を[が]抽出し[され]、販売[されること]もできる」としても可。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ can be sold / as they are / or / from which / their essential oils / can be extracted / sold の欠如はそれぞれ減点。 ▶ 形容詞句 that can be sold as they are と、形容詞句 from which their essential oils can be extracted and sold が共に herbs に掛かっている訳は減点。 ▶ as they are (そのまま) の誤訳は減点。 ▶ essential oil はカタカナも許容。「不可欠な油分」は誤訳。 ▶ be extracted は「取り出された」「絞られた」など from と合う訳は広く認める。「作った」は誤訳。 ▶ can be extracted と (can be) sold が並列関係にあると理解できていない訳は減点。

問6 下線部内容説明(12点満点)

〔設問指示〕

下線部④の状況が生まれている理由を、本文に即して 75 字以上 85 字以下 (句読点も含む) の日本語で説明しなさい。

〔解答例〕 ①～③の番号は下表の部分との対応を表す。

- ①消費者が持続可能な方法で作られた食品を選ぶ傾向を示し、②食品の生産地や生産および輸送の方法も知りたがることで、
③新たな市場が生まれ、生産者に変化を促しているから。(79 字)

〔解答参考箇所〕

(4) Consumers are now driving changes in farming practices. ①They tend to choose sustainably produced foods. ②They increasingly want to know where their food comes from, how it is produced, and even how it is transported. ③and farmers see there are growing markets, which motivates them to make the change.

(消費者は現在、農業慣行の変化の原動力となっている。①消費者は持続可能な方法で作られた食品を選ぶ傾向があるのだ。②消費者は食品がどこから来ているのか、それがどのように生産されているのか、そしてどのように輸送されるかさえもますます知りたがり、③そして農家は成長している市場があることを目にし、それが動機となって変化しようとしている。)

●次の①～③の項目に相当する内容に得点を配分。

区分	項目
①	<p>【消費者の傾向①】「消費者が持続可能な方法で作られた食品を選ぶ傾向を示している」 They tend to choose sustainably produced foods.</p>
	<p> <input type="checkbox"/> They は「消費者」と明記されていないと減点。 <input type="checkbox"/> 「～する傾向がある」の欠如は減点。 <input type="checkbox"/> 「選ぶ」の欠如は減点。 <input type="checkbox"/> 「持続可能な方法で」は「持続可能に」としても可。 <input type="checkbox"/> 「作られた」は「生産された」など。 <input type="checkbox"/> 「食品」は「食べ物」「食糧」など。単に「(作られた)物」は不可。 </p>
②	<p>【消費者の傾向②】「食品の生産地がどこで作られたかや(その)生産および輸送の方法も知りたがる」 They increasingly want to know where their food comes from, how it is produced, and even how it is transported</p>
	<p> <input type="checkbox"/> 「どこで作られているか」「どのようにして作られているか」「どのようにして運ばれているか」の 3 要素の欠如はそれぞれ減点。 ▶ 「どこで作られているか」は「産地 / 原産地」としても可。 ▶ 「どのようにして運ばれているか」は「運搬方法 / 運送の仕方」などとしても可。 <input type="checkbox"/> They / their / it の誤った解釈はそれぞれ減点。 <input type="checkbox"/> increasingly「ますます～になる」の有無は不問。 <input type="checkbox"/> even「～さえも」の有無は不問。 </p>
③	<p>【①・②がなぜ「変化の原動力」になっているか】「～することで新たな市場が生まれ、生産者に変化を促している」 ...and farmers see there are growing markets, which motivates them to make the change.</p>
	<p> <input type="checkbox"/> 「市場が生まれている」「それが生産者に変化を促している」の 2 要素の欠如はそれぞれ減点。 ▶ それぞれ「農家は成長している市場を目にする」「そのこと[それが]変化への動機となっている」としても可。 <input type="checkbox"/> and は「そして / その結果」の意味で使われている場合許容。「また」は誤訳。 <input type="checkbox"/> which の先行詞は there are growing markets 全体と把握できていない場合は減点。 </p>

II

【客観問題】

2 [イ] (E) [ロ] (G) [ハ] (B) [ニ] (A) [ホ] (D)

5 完答 (C) \Rightarrow (A) \Rightarrow (E) \Rightarrow (D) \Rightarrow (B)

1. 和文英訳(10点満点)

(設問指示)

下線部(1)を英語に訳しなさい。

(1) このささやかな違いのせいで, 女性の創造性は長い間低く見られている。

(解答例1)

Because of this tiny difference, the creativity of women has been underestimated for a long time.

(解答例2)

This trivial difference has kept women's creativity underestimated for a long time.

【基準】

1) 減点法で採点。

2) 文法・語法・構文・綴りの誤り, 不適切な訳語

例) スペルミス, 動詞の語形・名詞の単複などの誤り, 不適切な単語の使用など

※句読点は一切不問。大文字・小文字の明らかな誤りは減点対象。

3) 以下の①・②の区分で採点。

※詳細基準 ×は減点

区分	要素	訳語
①	「このささやかな違いのせいで」	<ul style="list-style-type: none"> ・ Because of this tiny difference 【副詞句】 ・ This trivial difference 【無生物主語】
	<u>このささやかな違い</u>	<ul style="list-style-type: none"> ○ this slight[small / little] difference × 「この」の欠如 × 「ささやかな」の欠如 × 「違い」の欠如
	<u>～のせいで</u>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 【副詞句】の場合：(理由)owing[due / thanks] to ○ 【無生物主語】の場合：無生物主語 + 使役動詞 keep[make]の現在完了形で表す。 × 「～のせいで」の誤訳・欠如
②	「女性の創造性は長い間低く見られている。」	<ul style="list-style-type: none"> ・ the creativity of women has been underestimated for a long time ・ 無生物主語 + has kept women's creativity underestimated for a long time ・ our society has[we have] long considered[believed] women are less creative[have low creativity]
	<u>女性の創造性は</u>	<ul style="list-style-type: none"> ○ a[the] woman / female (形容詞・名詞) ○ creative ability[abilities] / creativeness × 「女性の」の欠如 × 「創造性」の欠如
	<u>長い間低く見られている。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無生物主語 + has resulted in [has led to] women being underestimated for a long time ○ has been esteemed[looked upon] lightly / regarded as low(er) / given a low(er) reputation / valued lowly など。 ○ for (a) long (time) ○ has long been p.p. × 「見られている」の時制は現在完了形以外不可 × 「長い間」の欠如 × 「低く」の欠如 × 「見られている」の欠如

問3 下線部内容説明(12点満点)

〈設問指示〉

下線部②の出来事が起きた理由を、本文に即して 35 字以上 45 字以内(句読点も含む)の日本語で説明しなさい。

〈解答例〉 ①～②の番号は下表の部分との対応を表す。

②彼女の仕事のほとんどは夫のピエールがやったことだと、①大学側が思い込んでいたから。(40 字)

【解答参考箇所】

(2) Harvard University refused to award her an honorary degree. ① Charles Eliot, then president emeritus of Harvard, said ② “Credit does not entirely belong to her.” Eliot assumed that her husband, Pierre, did almost all of her work; ① so did almost all Harvard professors.

(ハーバード大学は彼女に名誉学位を授与することを拒んだ。①当時のハーバード名誉学長であったチャールズ・エリオットは②「功績が完全に彼女のものだとは言えない」と述べた。エリオットは彼女の仕事のほとんどすべてをマリーの夫のピエールがやったのだと思い込んでおり、①ハーバードの教授たちのほぼ全員も同じ考えだった。)

区分	項目
①	<p>【理由必須要素①】「大学側が思い込んでいた」</p> <p><input type="checkbox"/> 「大学側」は「ハーバードの教授陣[教授会員]」「(チャールズ・)エリオットと教授たち」など。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 人名のカタカナ表記の不備は一切不問。 ▶ 「全員が」は不十分で減点対象。 <p><input type="checkbox"/> 「思い込んでいた」は「見なしていた」「考えていた」「偏見を抱いていた」など、認識系の表現は認める。</p>
②	<p>【理由必須要素②】「彼女の仕事のほとんどは夫のピエールがやったことだと」</p> <p><input type="checkbox"/> 「彼女の仕事」は彼女の「業績」「成果」「功績」など、文脈に合った表現を認める。</p> <p><input type="checkbox"/> 「ほとんど」の欠如は減点。</p> <p><input type="checkbox"/> 「夫のピエールがやったこと」の欠如は減点。</p> <p>(×) 「功績が完全に彼女のものだとは言えないと思ったから」</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「夫」「ピエール」はどちらかがあれば可。欠如は減点。 ▶ 「彼女の夫とピエール」は不可。 ▶ 「他人」としたものは不可。 ▶ 人名のカタカナ表記の不備は一切不問。

問4 下線部内容説明(12 点満点)

〈設問指示〉

下線部(3)は、第 4 段落の内容全体をふまえると、どのようなことを示唆するために書かれたと考えられるか。

which の指す内容を明確にし、40 字以上 50 字以内(句読点も含む)の日本語で具体的に説明しなさい。

〈解答例〉 ①～②の番号は下表の部分との対応を表す。

①ノーベル化学賞の単独受賞も[は], ②マリー個人としての功績と認められたからだとは言い切れないということ。(48 字)

(別解)②夫が存命であれば, ①マリーのノーベル化学賞は②単独受賞とはならなかったらうということ。(42 字)

【解答参考箇所】

When she accepted her second Nobel Prize, Curie used the word “me” seven times at the start of her speech, stressing, “The chemical work aimed at isolating radium in the state of the pure salt, and at characterizing it as a new element, was carried out specially by me.” The second woman to win a Nobel Prize in science was Curie’s daughter Irene. Both women shared their prizes with their husbands, except for Marie’s chemistry prize, (3)which was awarded after Pierre Curie’s death. Had Pierre been alive then, the result might have been different.

二度目のノーベル賞を受けた時、キュリーはスピーチの冒頭で「私」という言葉を 7 回使い、次のように強調した—「ラジウムを純粋な塩の状態で取り出すことと、新元素としてラジウムの特性を明らかにすることの 2 つを目的にした化学的研究は、何といっても私によって遂行されたものなのです」科学分野でノーベル賞を受賞した女性第 2 号は、キュリーの娘のイレーヌだった。これら 2 人の女性はいずれも、マリーの化学賞を除けば夫との共同受賞だったが、マリーの化学賞 (3)が授与されたのはピエール・キュリーの死後であった。その時ピエールが存命だったら、結果は違っていたかもしれない。

区分	項目
①	【which の指す内容の明示】 which = Marie’s chemistry prize 「マリーのノーベル化学賞の単独受賞」
	<input type="checkbox"/> 「マリーのノーベル化学賞」 ▶ 「化学」「ノーベル」のどちらかしかない場合は減点。 ▶ 「マリ」「女性」も可 欠如は減点。※②で言及していれば減点なし。 <input type="checkbox"/> 「単独受賞」と明記されていない場合は減点。※②で言及していれば減点なし。
②	【示唆されていることの説明】 「マリー個人としての功績と認められたからだとは言い切れない」 「夫が存命であれば、[～単独受賞とはならなかった] [夫との共同受賞になっていた] [個人の成果と認められなかった] [マリーの個人受賞にはならなかった]」
	<input type="checkbox"/> 単に「結果は違っていた」とした場合、説明不十分で減点。 <input type="checkbox"/> 〈推量〉might have been「～だったかもしれない」の意味になっても許容。

問6 下線部和訳(12点満点)

〔設問指示〕

下線部(3)を日本語に訳しなさい。

〔解答例〕 ①～③の番号は下表の部分との対応を表す。

① ウィルキンスが一度だけノーベル賞受賞講演の中でフランクリンに言及し、真実は白状せずに彼女が「X線の分析にたいへん価値ある貢献」をしたとだけ述べて、彼女の重要性を捻じ曲げて表現した。

〔和訳箇所〕

① Wilkins referred to Franklin only once in his Nobel speech and misrepresented her importance by only saying that she made “very valuable contributions to the X-ray analysis” without confessing the truth.

● 次の①～④の項目に相当する内容に得点を配分。

区分	項目
①	Wilkins referred to Franklin only once in his Nobel speech 「ウィルキンスが一度だけノーベル賞受賞講演の中でフランクリンに言及し」
	<input type="checkbox"/> Wilkins referred to Franklin ▶ Wilkins / referred to / Franklin の欠如はそれぞれ減点。 ▶ 「ウィルキンス」「フランクリン」のカタカナ表記の誤りはそれぞれ不問。 ▶ referred to ～は「～について述べた」の意味にとれるものを認める。 <input type="checkbox"/> only once in his Nobel speech ▶ only / once / in / Nobel speech の欠如はそれぞれ減点。 ▶ his の欠如は不問。「フランクリンのスピーチ」とした場合は誤訳。 ▶ Nobel speech は「ノーベル賞スピーチ」「ノーベル記念講演」など許容。
②	and misrepresented her importance 「彼女の重要性を捻じ曲げて表現した」
	<input type="checkbox"/> misrepresented / her importance の欠如はそれぞれ減点。 ▶ misrepresent は「誤ったこと[うそ]を述べた」「不正確に伝えた」のどちらかを意味する表現はすべて許容。 ▶ her を「彼女の研究[業績]」と述べても可。 ▶ her=「フランクリンの」と捉えていない場合は減点。
③	by only saying that she made “very valuable contributions to the X-ray analysis” 「彼女がX線の分析にたいへん価値ある貢献」をしたとだけ述べて[をしたとしか述べずに][としか言わず][ということだけ言って]」
	<input type="checkbox"/> by only saying ▶ by saying / only の欠如はそれぞれ減点。 ▶ by saying は misrepresented にかかる副詞句だと理解できていない場合減点。 (×)「～だけ言うことによる重要性」 <input type="checkbox"/> that she made “very valuable contributions to the X-ray analysis” ▶ she / made contributions to / very valuable / the X-ray / analysis の欠如はそれぞれ減点。 ▶ she=「フランクリン」と捉えていない場合は不可。 ▶ カギカッコ「」の欠如や範囲の誤りは減点。 ▶ that の関係詞把握ミスは減点。 ▶ the X-ray は「レントゲン線」「放射線」は許容。
④	without confessing the truth 「真実は白状せずに」
	<input type="checkbox"/> without confessing / the truth の欠如はそれぞれ減点。 ▶ saying にかかる副詞句だと理解できていない場合は減点。(×)「真実の告白が欠けた～への貢献」 ▶ confess は「告白する」「打ち明ける」「認める」も可。 ▶ the truth を具体化して述べても可だが、そこに誤りが含まれる場合は減点。

III

【客観問題】

1 (a) (へ) (b) (ホ) (c) (口) (d) (ハ) (e) (ト)

4 (C)

5 (B), (E) (順不同)

問2 下線部英訳(10点満点)

(設問指示)

Translate the underlined part after (1) into English.

(解答例) ①～②の番号は下表の部分との対応を表す。

① India is a large country consisting of many peoples ② and they have a wide variety of religious customs.

【英訳箇所】

「①インドは多くの民族からなる大国で、②多様な宗教上の習慣があるのさ」

【基準】

1) **減点法で採点。**

2) 文法・語法・構文・綴りの誤り、不適切な訳語

例) スペルミス、動詞の語形・名詞の単複などの誤り、不適切な単語の使用など

※句読点は一切不問。大文字・小文字の明らかな誤りは減点対象。

3) 以下の①・②の区分で採点。

詳細基準 ×は減点

区分	要素	訳語
①	「インドは多くの民族からなる大国で、」	India is a large[big / large / huge] country consisting of many peoples
	<u>インドは～大国で</u>	× 「インドは」の欠如 × 「大国で」の欠如 ※「大きい」は文脈から powerful / strong とするのは不可。
	<u>多くの民族からなる</u>	○ 「民族」は ethnic groups / races / ethnicities ○ 「～からなる」は which[that] has[contains / includes] / be made up of / be composed of × 「多くの」の欠如 × 「民族」の欠如 ※many people は不可。 × 「からなる」の欠如
②	「多様な宗教上の習慣がある。」	...and they have a wide variety of religious customs.
	<u>多様な宗教上の習慣がある。</u>	○ and it has many kinds[sorts / types] of religious practices ○ and there are various kinds[sorts / types] of religious practices ○ 「宗教上の」を on[of] religions としたもの。 × 「多様な」の欠如 × 「宗教上の」の欠如 × 「習慣」の欠如 × 「～がある」の欠如 × 「習慣」を habits としたもの ※文脈的に不可

問3 自由英作文 (12点満点)

(設問指示)

The underlined part after (2) suggests that Mr. Williams thinks relying on copying and pasting from the Internet has bad effects on his students. Why does he think so? Give ONE possible reason that is NOT referred to in the conversation. Your answer should be between 25 and 30 English words in length. (Indicate the number of words you have written at the end of your answer.)

(2)の後の下線部は、ウィリアムズ氏が、インターネットからのコピー&ペーストに頼ることは、生徒に悪い影響を与えていることを示唆しています。なぜそう考えるのでしょうか。この会話で言及されていない理由で考えられるものを1つあげ、25~30語でまとめなさい。(答えの末尾に書いた語数を記入すること。)

(解答例)

I think that he thinks so because copying and pasting from the Internet is so easy that it hardly helps students to retain knowledge or think deeply. [27 words]

(教授がそう考えたのは、インターネットからのコピーペーストはとても楽なので、学生が知識を保持したり深く考えたりするのに役に立たないからだ、私は思う。)

【基準・減点】

・減点法で採点。

1. 文法・語法・表現

1) 文法・語法・構文・綴りの誤り

(例)スペルミス、動詞の語形・名詞の単複などの誤り、不適切な単語の使用など

※句読点は一切不問。大文字・小文字の明らかな誤りは減点対象

※短縮形の使用はすべて認める。

2) その他の誤り

意図が伝わらない、文と文のつながりがおかしいなど。

<そのほか問3の特記事項>

□ I think ~なしで、There reason may/must be that や It may/must be because で書き出しても可。

但し、possible reason なので、may/must be または、is possibly などがない断定表現のみは不可。

□ Why で始まる問なので Because 節だけで答えていても可だが、ここでも断定表現のみは不可。

□ copying and pasting from the Internet を複数名詞として受けている場合は減点、

2. 内容面

【問題】(2)の後の下線部は、ウィリアムズ氏が、インターネットからのコピー&ペーストに頼ることは、生徒に悪い影響を与えていることを示唆している。なぜそう考えるのか。この会話で言及されていない理由で考えられるものを1つあげ、25~30語でまとめなさい。

ポイント 「ウィリアムズ氏が、インターネットからのコピー&ペーストに頼ることは、生徒に悪い影響を与えると考える理由」を1つ

*「ネット上の情報の信頼性」は、会話で既に言及されているため不可。

*「インターネットからのコピー&ペースト」が生徒に悪い影響を与える理由を2つ以上挙げたものは減点。

*「インターネットからのコピー&ペースト」に無関係なものは減点。

*「生徒に悪い影響を与える」と考えられないものは減点。

IV 問3 自由英作文 (28点満点)

(設問指示)

Examine the two graphs given below carefully. Write what you have observed from each graph and explain a connection between the two, giving ONE possible reason for the connection. Your answer should be between 65 and 80 English words in length. (Indicate the number of words you have written at the end of your answer.)

(以下に与えられた2つのグラフを注意深く吟味しなさい。それぞれのグラフからあなたが読み取ったことを書き、2つの間の相関関係を説明し、その相関関係の理由として考えられることを「1つ」挙げなさい。解答は長さ 65-80 語の英語で述べること。(書いた語数を、解答の末尾に記すこと。)

(解答例)

According to graph A, U.S. college students have become more and more dependent on student loans to pay for their tuition. Graph B says the U.S. fertility rate has continued to decline steadily. I think the rise in student-loan debt must have had a negative effect on the fertility rate. The reason would be that many U.S. college graduates have to spend a significant percentage of their income on their loan repayment, which discourages them from having children. [78words]

(グラフ A によると、アメリカ合衆国の大学生は学費を支払うために学生ローンに頼る度合いがどんどんと高まってきた。グラフ B によると、合衆国の出生率はだんだんと減少し続けてきた。学生ローンの借金の増加が出生率に負の影響を与えてきたに違いないと私は考える。合衆国の多くの大学卒業生は収入のかかなりの割合を学生ローンの返済に費やさねばならず、そのことが、彼らに子供をもうけるのを思いとどまらせていることが、その理由であろう。)

【基準・減点】

・減点法で採点。

1. 文法・語法・表現

1) 文法・語法・構文・綴りの誤り

(例)スペルミス、動詞の語形・名詞の単複などの誤り、不適切な単語の使用など

※句読点は一切不問。大文字・小文字の明らかな誤りは減点対象

※短縮形の使用はすべて認める。

2) その他の誤り

意図が伝わらない、文と文のつながりがおかしいなど。

<そのほかIVの特記事項>

□ 時制は「現在完了(進行)形」または「過去」。

2. 内容面

【問題】 2つのグラフを注意深く吟味しなさい。それぞれのグラフからあなたが読み取ったことを書き、2つの間の相関関係を説明し、その相関関係の理由として考えられることを「1つ」挙げなさい。解答は長さ 65-80 語の英語で述べること。(書いた語数を、解答の末尾に記すこと。)

ポイント1 「2つのグラフから読み取ったことを書く」

*「2つのグラフから読み取ったこと」が欠如している、無関係なことを記載しているものは不可。

*どちらか1つのグラフについてしか書かれていないものは減点。

*グラフ A について「アメリカ合衆国での学費支払いのための負債[学生ローンへの依存]の増加」に言及がない場合、減点。

→上記の下線部分の要素がそれぞれ必要。

*グラフ B について「アメリカ合衆国での出生率の減少」に言及がない場合、減点。

→上記の下線部分の要素がそれぞれ必要。

*倍数表現がグラフと明らかに食い違っている場合や数値の読みとりの誤りはそれぞれ減点。

ポイント2 「2つのグラフの相関関係を説明」

*「2つのグラフの相関関係」の説明が欠如している場合は不可。

*「学生ローンの借金の増加が、出生率にマイナスの影響を与えた[の減少をもたらした]」という趣旨の説明になっていない場合は減点。

*「説明」を書いているが、その論旨が一貫していない、論旨に無理がある場合は減点。

ポイント3 「2つのグラフの相関関係の理由」×1つ

*「2つのグラフの相関関係」の理由が欠如している、無関係なことを記載している場合は不可。

*「2つのグラフの相関関係」の理由が2つ以上書かれている場合は減点。

*理由解答例:「学生ローンの返済が苦しくて、結婚できない[子供を育てられない]」「子育てに使うべき金を、学生ローンの返済に使わねばならぬので、子供を持つのをためらう」

•S discourage them from having children (S が彼らに子供をもうけるのを思いとどませる)

•Because of A, they are discouraged from having children (A のせいで、彼らは子供をもうけるのを思いとどまる)

•S make it difficult for them to have more than one child (S が、彼らが2人以上の子供をもうけるのを困難にする)

•Because of A, they give up having more than one child (A のせいで、彼らは2人以上の子供をもうけるのを断念する)

*「理由」を書いているが、その論旨が一貫していない、論旨に無理がある場合は**不可**。